





 <b>MATTERHORNモノロックケース</b>	適応車種	商品NO.
	指定モノロックベース専用	共通



**■ご使用前に必ずご確認ください■**

※本商品のご使用前に最終項に記載の URL（保証規定）より保証規定の内容を読み、ご理解のうえご使用ください。  
 ※本商品の使用をもって、本書と保証規定の内容の全てを理解・承諾したものとみなします。本書内の注意事項を守らず使用したことによる事故や損害について、当社では一切の責任を負いません。  
 ※本書は、いつでも取り出して読めるように大切に保管してください。また第三者に譲渡する場合は、必ず本書も併せてお渡しください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。	 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
---	---------------------	---	-------------------------	--	---------------------

 <b>警告</b>	要件を満たさず使用しますと、死亡または重傷に至る可能性や第三者の生命や財産を損なう可能性が想定される場合を示してあります。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>この商品は指定懸架ステーに所定の状態で取り付けられた GIVI モノロックベース（ケース付属 WIDE 汎用ベース、または別売りのM5M/M6M/MMベース）専用です。M5/M7/M3/M35 などの GIVI モノキーベース（別売り）には取り付けできません。また、GIVI 社指定以外のベースプレートには使用しないでください。尚、WIDE 汎用ベース（指定モノロックケース付属品または別売り）は 34L 未満のモノロックケースには使用できません。これらケースとベースの適応詳細や最新情報につきましては GIVI 専用ホームページ <a href="http://www.givi-jp.com">http://www.givi-jp.com</a> にてご確認ください。</li> <li>指定最大積載重量（ケースに収容可能な内容物の MAX 総重量）は 3kg です。指定を超える総重量となる内容物をケース内へ収納、積載することは絶対にお止めください。</li> <li>車両の純正リアキャリアや市販のキャリアに取り付けする際は、ケースのベース込み重量＋収納する内容物の合計重量がキャリア側の最大積載重量を超える状態では絶対に使用しないでください。</li> <li>ケース脱着が困難な場合は、ケース取り外しボタンやベースプレート嵌合部に無理な力を加えないでください。変形や破損など予期せぬ不具合が発生する場合があります。</li> <li>この商品をつかんでのメインスタンド掛けや車体の取り回しはお止めください。変形や破損など予期せぬ不具合の原因となります。</li> <li>法定速度を必ず遵守することを前提に、100km/h を超える状態での走行使用は行なわないでください。操舵性の変化などにより、破損や脱落など予期せぬ不具合や事故損害の原因となります。</li> <li>オフロードなど悪路での走行使用は行なわないでください。破損や脱落など予期せぬ不具合や事故損害の原因となります。</li> </ul>
 実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>本商品の装着および荷物を積載して使用した場合に、車両の重量増加や重心の変化や空気抵抗の増加などにより、ハンドリングやブレーキ性能が変化する可能性があります。操作になれるまでは十分に慣らし運転を行なってください。</li> <li>取付前に取付箇所の純正部品や車両に欠損や破損がないか確認してください。異常が見られる場合は新品に交換するなどしてください。</li> <li>走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を必ず点検してください。異常があった場合は、商品の使用または車両の走行を中止し、認証工場や販売店へご相談してください。</li> </ul>

 <b>注意</b>	要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。
 実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品取り扱い時に商品の端面や商品に突起やバリなどがあり予期せぬケガや事故が発生する場合があります。パッケージの取り扱いも含め、取り扱いの際は必ず保護手袋を着用しケガには十分に注意して作業を行なってください。</li> <li>本商品を開梱の際は構成部品に外観の不具合や異常がないことを必ずご確認ください。万一お気づきの点がございましたら、ご使用前にお買い求め販売店へ速やかにご相談ください。</li> <li>本商品は排気量 300cc 以下の車両への取付を推奨しております。</li> <li>この商品ならびに指定同時装着品の構成部品は金属や樹脂を素材としております。経年変化や使用損耗により素材劣化が生じ、予期せぬ不具合が発生する場合があります。必ず定期的に点検整備を行なってください。定期的な点検整備や日々のメンテナンスを怠り発生した不具合や事故損害、および経年変化や使用損耗により発生した不具合や事故損害につきましては、当社および GIVI 社では一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。</li> <li>この商品はストップランプ標準装備のケースではないため、ボトムシェル（底部）に接点が付いておりません。そのため、標準状態のこの商品を組み付ける GIVI モノロックベース（別売り）に接点がついていない場合は、必ずベースから接点を取り除いてからご使用ください。ボトムシェルに接点がないケースを接点付きのベースに取り付けると、ケースとベースプレート後側のアタッチメントの所定の嵌合が得られず、部品破損や脱落など予期せぬ不具合や事故損害の原因となります。</li> <li>ベースの防振ゴムの状態を定期的に点検し、適切なタイミングで新品交換してください。使用損耗・素材劣化が生じた品を使用すると、ケースとベースプレートとの所定の接地感が得られず、振動増加や部品変形破損など予期せぬ不具合や事故損害などの原因となります。</li> <li>ケース脱着作業は安定した平らな場所で、作業中の車体の安定と周囲の安全を十分確保したうえで確実に行ってください。作業が適切に行われないと、作業中やご使用中に部品破損や脱落など予期せぬ不具合が発生する場合があります。</li> <li>ケースの蓋を開ける際は、所定の制御範囲を超えて、ヒンジ部に無理な力が掛かるまで最大開口させないでください。</li> <li>ケースの蓋を閉める際やロックして走行使用の際は、荷物が蓋に挟まれていないことを必ず確認してください。</li> <li>走行中に異常が発生した場合は直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。</li> <li>取り付け後に約 100km 走行しましたら各部を必ず点検を行ってください。その後は約 500km 毎に同様の作業を行ってください。</li> </ul>



その他

- 商品保証は本商品のみが対象になります。また本商品を装着したことによる物的損害や人的損害などの保証は一切お受けできません。
- 純正アクセサリや他社製品との同時装着は未確認です。
- 本商品は素材や製造方法により製品個体差があります。溶接や塗装、キズ、歪みなど程度の差がございます。
- 本商品および指定同時装着品の構成部品は金属や樹脂を素材としております。ご使用の環境や経年変化によらず使用損耗や素材劣化（サビ含む）が、早期から進行する場合があります。
- 定期的に各部の点検を行なってください。雨水がたまりやすい箇所や金属溶接部周辺などは特に念入りに行なってください。また塗装のはがれやキズ、サビなどが発生した場合は適切な補修を行なってください。補修せずに使用すると素材劣化が促進され、本商品の破損だけでなく、車両へのダメージの原因となります。
- 本商品は指定部品のため、通常の継続車検を適用できます。構造変更届けは不要です。
- 本商品を取り付けた場合に車両側の取り付け面や、その周辺にキズが付く場合があります。また荷物の積みおろしや GIVI 社製ケースの脱着を繰り返すと本商品にキズなどのダメージを負う可能性があります。
- 本商品、または本書でご紹介した商品は予告なしに価格や仕様を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

## 本商品の特徴

- アルミと樹脂を複合使用した軽量のモノロックケース。

※ 商品の詳細や最新情報は GIVI 専用ホームページ <http://www.givi-jp.com> にてご確認ください。

## 商品内容

車両に組み付ける前に、必ず各部品の構成（種別、入数、寸法、外観など）や作業内容を十分ご確認ください。

NO	パーツ名	サイズ	数量	NO	パーツ名	サイズ	数量
①	ケース		1	⑥	スクエアワッシャ		4
②	キー		2	⑦	波形プレート		4
③	WIDE 汎用ベース		1	⑧	ナイロンロックナット	M6	4
④	ベースカバー		1	⑨	タッピングスクリュー		2
⑤	六角穴付きボルト		4	⑩	ワッシャ	M6 用	8

※ ⑤六角穴付きボルトと⑧ナイロンロックナットがフランジ付きの部品仕様となっている商品には⑩ワッシャは入っておりません。

※ ③WIDE 汎用ベースは 34L 未満のモノロックケースには使用できません。

## ケースの蓋の開閉

- ①ケースのキーシリンダーに②キーを奥までしっかりと挿し込み、②キーを右（3 時方向）に45度程度回してケースと蓋のロックを解除します。（図A参照）解除後②キーは自動で垂直に戻ります。（図B参照）  
※ケースの蓋を開ける際は、所定の制御範囲を超えてヒンジ部に無理な力が掛かるまで最大開口させないでください。変形や破損など予期せぬ不具合の原因となります。
- ①ケースのキーシリンダーに②キーが挿し込まれていること（＝①ケースの中に②キーが入っていないこと）を事前に十分確認したうえで、①ケースをしっかりと支え持ち、蓋を上からゆっくりと押し込みロックします。  
① ケースの蓋に設けられたGIVI エンブレムの上辺りに手を添え、カチッ！という音が聞こえるまで蓋を押し込み、確実にロックしてください。  
※ ケース内に荷物を入れた状態で蓋を閉める際は、荷物が蓋に挟まれていないことを毎回必ず確認してください。

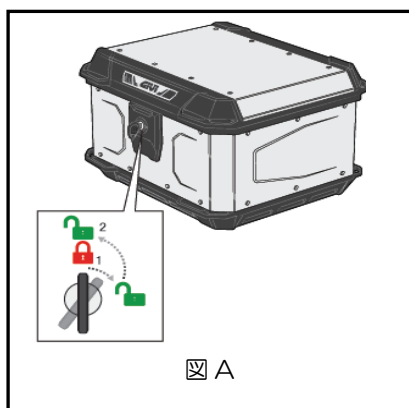


図 A

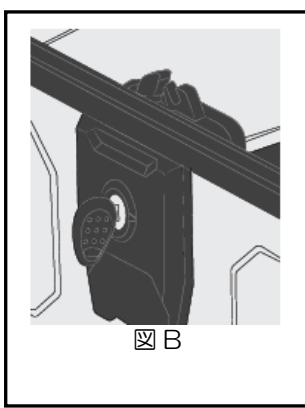
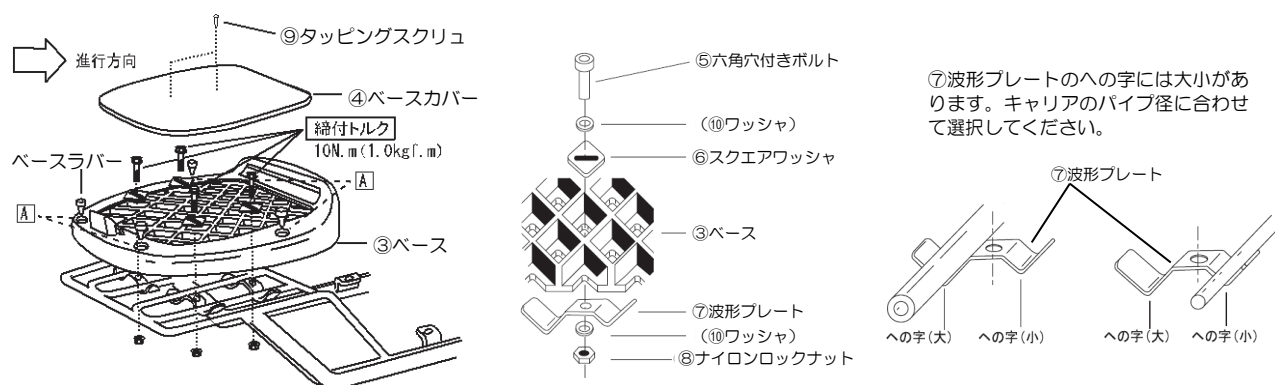


図 B

※使用上の注意※  
構造上、キーシリンダーへの②キーの挿し込みの有無やキーポジションに関係なく、①ケースの上蓋をロックすることができてしまいます。②キーの閉じ込み（インロック）には十分注意してください。

## 車体（リアキャリア）へのベース取り付け方法

この項では純正リアキャリアや市販のキャリアに③ベースを直接取り付ける方法を記述します。GMI 車種別フィッティング（別売り）に取り付けする場合は、フィッティング付属の取扱説明書に従って作業してください。



※⑤六角穴付きボルトと⑧ナイロンロックナットがフランジ付きの部品仕様となっている商品には⑩ワッシャは付属しません。

図 C（ベース取り付け概要図）

※上記画像は汎用ベースを使用しています。

- ③ベース裏側の網目の箇所から④ベースカバーを軽く押し出し（ツメ破損に注意）、③ベースから④ベースカバーを一旦取り外します。
- 手順 1 で取り外した③ベースをキャリア台座に仮置きし、ベース取り付け位置を検討します。
  - ※ ③ベースの裏側接地面に対し、キャリア台座の接地面が 2/3 以上確保できていることが重要です。所定の相互接地面が確保できないキャリアへの取り付けは、走行使用中のキャリア破損やケース脱落など、予期せぬ不具合や事故損害が発生する原因となります。
  - ※ 車体部品の操作（シート開閉・脱着など）に支障がなく、且つ③ベースを無理なく 4箇所固定できる取り付け位置を検討してください。所定とは異なる固定方法はベース取り付け不良（ガタツキやズレ、脱落など）の原因となります。
  - ※ 付属の⑦波型プレートはキャリアの丸パイプ部への取り付けを想定した形状となっております。角パイプ部に使用するとベース取り付け不良（ガタツキやズレ、脱落など）の原因となります。十分ご注意ください。
- 問題なければ図 D を参考に、⑤六角穴付きボルトと⑩ワッシャ（商品によっては付属しません。付属している場合は上側・下側両方に使用）、⑥スクエアワッシャ、⑦波形プレート、⑧ナイロンロックナットを使用して③ベースをリアキャリア台座に仮組みします。（全 4 箇所）
- 車体を水平にした状態で、手順 3 で仮組みした③ベースの取り付け位置を適宜微調整し、問題なければ各部を均等に締め付け、最終的に規定トルク（M6：10N・m）で本締めします。（全 4 箇所）
  - ※ キャリア形状や取り付け部位によっては、所定の規定トルク（M6：10N・m）に達する前に、⑥スクエアワッシャと⑦波型プレート、周辺の③ベース樹脂の網目が変形してしまう場合があります。これら部品が過度に変形した状態での取り付けは①ケースの着脱自体に支障をきたし、③ベースの取り付け不良（ガタツキやズレ、外れなど）や走行使用中のケース脱落など、予期せぬ不具合や事故損害が発生する原因となります。
- 手順 4 でキャリアに取り付けた③ベースに①ケースを取り付け、使用上の問題がないことを十分確認します。
- 問題なければ①ケースを③ベースより一旦取り外し、④ベースカバーを③ベースに元通り組み付け（ツメ破損に注意）、⑨タッピングスクリュでカバーを固定すれば作業完了です。
  - ※ ④ベースカバーが手ではまりにくい場合は、ツメの破損に注意し、ウエスなどを適宜使用してプラスチックハンマーなどでカバー外周を軽く叩いて③ベースに組み付けてください。

## ケースをベースに取り付ける

- ①ケースを両手でしっかりと支え持ち、脱落させないように十分注意しながら、③ベース前側の凹部（2箇所）に①ケースのボトムシェル（底部）前側の凹部（2箇所）をしっかりと嵌合させます。（図 E1/2 参照）
- ※ ③ベース前側の凹部と①ケースのボトムシェル前側の凸部は、左右 2 箇所とも均等に確実に嵌合させてください。左右で歪んで組み付けられた場合や左右何れかの嵌合が浅い場合は、以降の作業に支障をきたすだけでなく、変形や破損、ケース脱落など予期せぬ不具合が発生する場合があります。



図 D1

\*③ベース前側の凹部

\*画像は汎用ベースを参考としています。

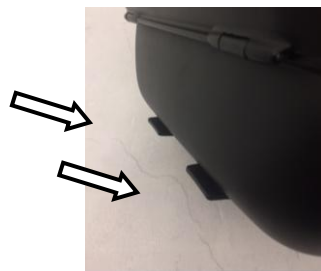


図 D2

\*①ケースのボトムシェル前側の凸部

- 別項 **ケースの蓋の開閉** の手順を参照し①ケースの蓋を開け、①ケースのボトムシェル（底部）内側と③ベースの裏側とを両手で挟み込みながら①ケースのボトムシェル（底部）内側にある嵌合部と③ベース後側のアタッチメントをしっかりと押し当てロックさせ、③ベースに①ケースを確実に取り付けます。（図 F 参照）

※ この時、引き続き①ケースをしっかりと支え持ち、手順 1 で行なった③ベース前側と①ケース前側の嵌合が左右で歪んだり外れたりすることがないように十分注意してください。

※ 図 G のベースロック解除レバーがカタカタと動く場合にはしっかりと嵌合していません。必ずロックがかかっていることを確認してください。



図 E

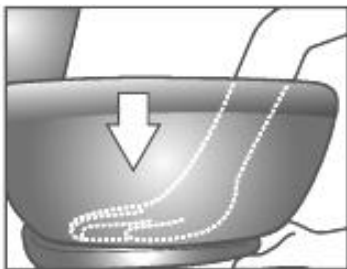


図 F

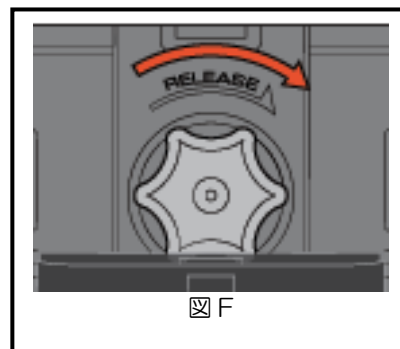


図 F

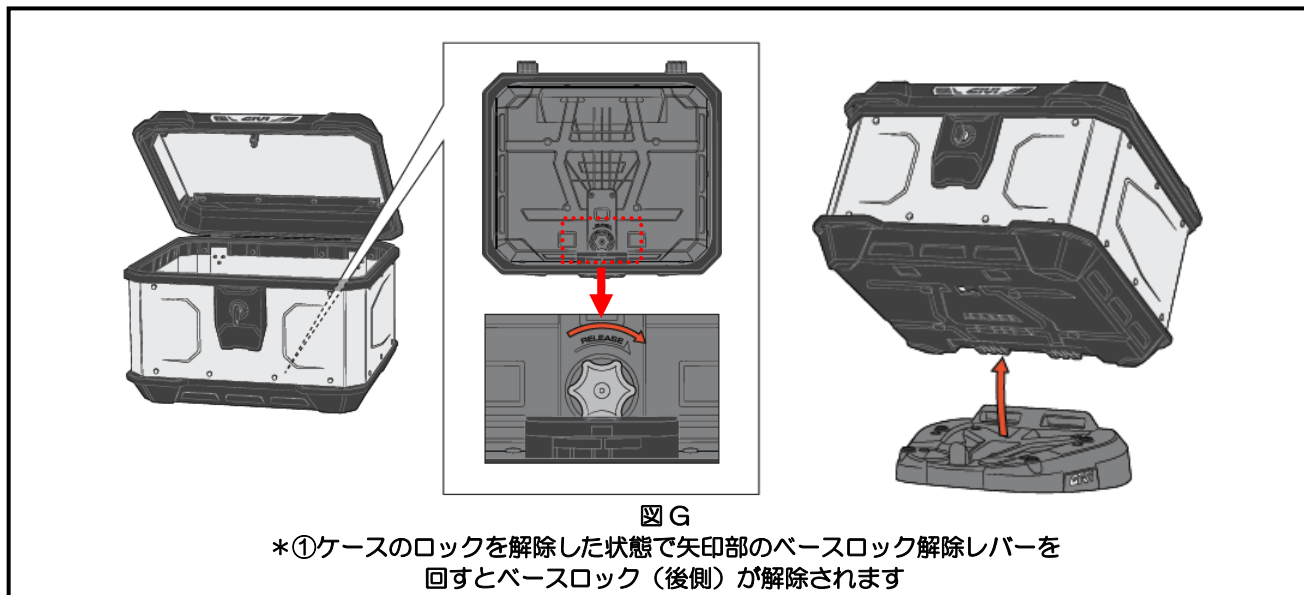
- ベースへのロック完了後は別項 **ケースの蓋の開閉** の手順を参照し①ケースの蓋を閉じ、②キーを取り外します。この状態で①ケースの蓋を強く持ち上げても蓋が開かないこと（＝ケースと蓋が確実にロックできていること）を毎回必ず確認してください。

※ ①ケースを③ベースに取り付けた際に発生する「カチッ」という音だけでは正しい取り付けができたかどうかは判別できません。ベースへのロックが不完全な場合でも同様の音が発生する場合がありますので、この手順 3 に従い毎回必ず確認してください。この手順を怠ると、走行使用中のケース脱落など、予期せぬ不具合や事故損害が発生する原因となります。

※ ベースへのロックが不完全な場合は、別項 **ケースをベースから取り外す** で記述するベースロック解除レバーが所定の位置まで戻りきらず、奥に引っ込んだままとなります。この状態では安全に走行使用できませんので、レバーを一度解除方向に回し、③ベースから①ケースを一旦取り外し、この手順 1～3 に従い作業を必ずやり直してください。この作業を怠ると、走行使用中のケース脱落など、予期せぬ不具合や事故損害が発生する原因となります。

## ケースをベースから取り外す

- ①ケースのキーシリンダーに②キーを奥までしっかりと挿し込み、②キーを右（3時方向）に45度程度回してケースと蓋のロックを解除します。（図A参照）。
  - ①ケースを両手でしっかりと支え持ち、①ケースの内のベース解除レバーを時計回り方向に回し、③ベース後側のアタッチメントと①ケースの嵌合を慎重に外します。（図G参照）
- ※ この時、ベースロック解除レバーやベースプレート嵌合部に不用意に無理な力を加えないでください。変形や破損など予期せぬ不具合が発生する場合があります。



- 引き続き①ケースを両手でしっかりと支え持ち、③ベース前側の凹部（2箇所）に①ケースのボトムシェル（底部）前側の凹部（2箇所）の嵌合を慎重に外し、蓋の開きや脱落に十分注意しながら③ベースから①ケースを完全に取り外します。
- ※ ①ケースの蓋のロックは解除されたままです。蓋が不用意に開いてしまいますので慎重に作業してください。ケース内に荷物を入れた状態で作業する場合は特に注意が必要です。

## その他

- ※ 素材と製造方法、製品個体差により、仕上がり品質はお手元の商品程度となります。素材表面の傷や歪み、凹凸や仕上げのムラなど、程度の差につきましては予めご了承ください。
- ※ 商品にガソリンやブレーキフルード、アセトン、シンナーなどの有機溶剤や化学物質を付着させないでください。小傷や曇り、素材表面の変色・変質などの原因となります。万が一付着した場合は直ちに水で洗い流してください。
- ※ 商品を洗浄・ふき取りする際は、研磨剤入りの磨き剤や目が粗い織布は使用しないでください。小傷や曇り、素材表面の変質・変色などの原因となります。
- ※ ケース内容物の防水・破損・故障対策はお客様の自己責任で行なっていただく必要があります。また、内容物の傷付き・破損および内容物によって生じるケース内部の傷付き・損傷なども十分ご留意ください。これらの不具合や、素材の経年変化や使用損耗により発生した不具合や事故、損害につきましては保証対象外となります。

### ■商品保証について

商品保証とは、通常のご使用において材料または製造上の不具合に起因する故障等が起きた場合、保証規定の範囲において無償修理または交換をお約束するものです。

- 保証期間は使用回数に関わらず、ご購入日から1年間となります。
- 保証を受ける場合には、お買い上げ日が証明できる書面（レシートなど）が必要となります。  
※保証の対象は、新品かつ正規販売店でのご購入品に限ります。個人売買や中古品、インターネットオークションでの購入品は保証の対象外となります。
- 下記のアドレス（またはQRコード）より、保証規定の詳細をご一読の上、ご理解・ご承諾ください。

デイトナ保証規定

<https://www.daytona.co.jp/warranty/index.php>

※保証を受けるご連絡を以って、保証規定にご同意いただいたものとみなします。



### ■保証修理の受付について

お買い上げ日が証明できる書面をご用意の上、購入店もしくは当社までご連絡ください。

インターネットお問合せ

<https://www.daytona.co.jp/contact/index.php>



株式会社 **デイトナ**  
東証スタンダード上場

転載 本取扱説明書の内容の一部、  
禁止 または全ての無断転載を禁止

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

<https://www.daytona.co.jp>